新型コロナウイルス関連対策本部 ニュース

Vol.11 2020, 8, 21

枚方市が開設した地域外来・検査センターについて「しんぶん赤旗」8月21日付の記事と、 詳細の資料をお送りします。参考にしてください。

地域外来・検査センター開設 かかりつけ医から直接検査依頼 辰巳氏・党府議 団が枚方市と懇談

石川多枝・内海公仁両大阪府議と辰巳孝太郎・日本共産党府新型コロナ対策本部長は、19日に枚方市役所を訪れ、同市が8月中にスタートさせる地域外来・検査センターについて当局と懇談を行いました。党枚方市議団(野口光男団長)が同席しました。

枚方市では、これまで市保健所を通じて新型コロナの検査が実施されてきましたが、かかりつけ医から直接センターに検査依頼できるようになります。センターは市内3つの病院内に設けられます。

今月開かれた臨時市議会では、3病院への委託料2億4千万円が盛り込まれた補正予算が可決しました。

市保健所の西岡美砂子副所長は「これまではかかりつけ医が検査が必要と判断してからさらに保健所へ相談しなければなりませんでしたが、今後その必要がなくなりスムーズに受診につながります。3か所でスタートさせますが、さらに増やしたいと思っています」と述べました。

同市ではさらに、市医師会と集合契約を行い地域のクリニックで検体採取を行う事業も検討しています。 (以上、「赤旗」8月21日付・近畿面)

枚方市 地域外来・検査センターの設置について

(文責 党府議団事務局)

★市内の従来の検査体制

市保健所でのこれまでの対応実績は最大80件程度。

主に帰国者接触者外来だが、一部クリニックで検体採取を行い、市保健所を通じて大阪健康安全基盤研究所で検査してもらっているものもある。

★開設場所

市内3医療機関の施設内

うち1医療機関には現在検査機器がある。他2病院は民間検査機関に外注しているが、今後全自動PCR検査機を購入予定

(府を通じて国緊急包括支援交付金で全額補助)。

★実施時期

2020年8月~2021年3月末

★事業費·財源

○委託費 1千万円/月×8か月×3医療機関=2億4千万円(令和2年度8月緊急議会補正予算)

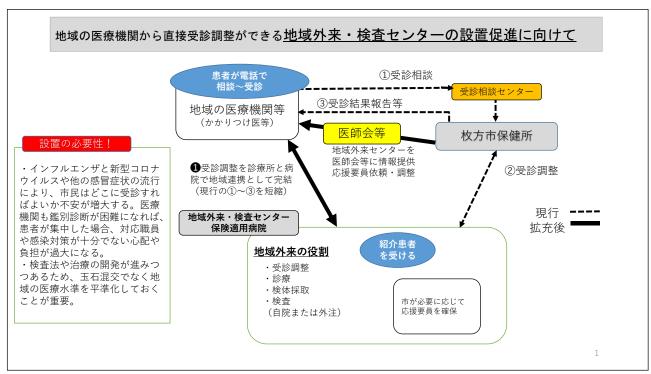
「府の検査センター設置予算を参考に、少し多めに予算を組んだ。見積もりを病院から出してもらって契約するが、人件費が占める割合が多くなる。施設整備等はできるだけ国等の補助金を充当してほしいとお願いしている」

○財源 国庫補助金(1/2)1億2千万円、一般財源(1/2)1億2千万円

★検査件数の見込み

「府からは80件/日でいいと言われているが、増やしたい」

★市医師会と集合契約を結び、市内のクリニックで検体採取を行う事業を検討中。 「数十か所はやってもらえると思っている」



(枚方市資料)

府内の地域外来・検査センター 8月中に36か所に 大阪府公表

府の集計によると、府内の新型コロナ地域外来・検査センターは8月20日時点で26か所です。月内に36か所まで設置される見込みとしています。

ほか、「帰国者・接触者外来」86か所、一般医療機関での保険適用による検査が221か所で 実施されています。

なお、各施設の検査可能件数、市町村別の施設数は公表していません。

		8/20 現在	8月中見込み
地域外来・検査センター(受診調整機能つき)		9か所	17 か所
(2 次医療圏別)	豊能		(1か所)
	三島		(5か所)
	北河内	(2 か所)	(2か所)
	中河内	(1 か所)	(1か所)
	南河内	(2 か所)	(3か所)
	堺市		
	泉州		(1か所)
	大阪市	(4 か所)	(4 か所)
地域外来・検査センター(検体採取特化型)		17 か所	19 か所
帰国者・接触者外来		86 か所	
保険適用検査実施医療機関		221 か所	

